

真間へゆく

柳坪 幸佳

真間へゆく

真間へゆく

そこへゆけば

そう決めていた

なにしろわたしは大人でいられる

コンクリートの割れ目に手を振る、

学校の授業はつまらない

ばいばい

古典の授業は求婚をされた

それからわたしは靴を整え

少女の美しさを歌うというのに

いつもと同じ道を学校に向かう

真間へゆく

そうやってわたしはわたしの道を

どうすればゆけるか知っている

真間への道をひらめかせている

背中を向けて走る電車

風を揺さぶる貨物の鼓動

立てかけられた札をたどれば

現れる

午前十時の制服の神話

物語を指にすくおうと川岸に寄ると

太陽の蜜が

制服の裾にちよつとこぼれる